

**製品名: CYP1B1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09632**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	60kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CYP1B1
別名	CYP1B1; Cytochrome P450 1B1; CYP1B1
遺伝子 ID	1545.0
SwissProt ID	Q16678
免疫原	ヒト CYP1B1 の内部領域から得られた合成ペプチド。

**背景**

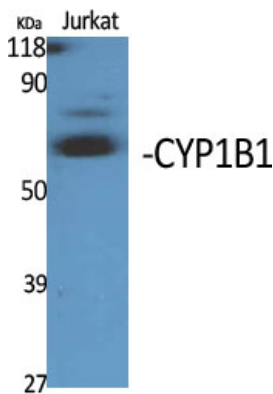
この遺伝子は、シトクロム P450 スーパーファミリーに属する酵素をコードしています。シトクロム P450 タンパク質はモノオキシゲナーゼであり、薬物代謝やコレステロール、ステロイド、その他の脂質の合成に関わる多くの反応を触媒します。この遺伝子によ

てコードされる酵素は小胞体に局在し、多環芳香族炭化水素や  $17\beta$ -エストラジオールなどの発がん性物質を代謝します。この遺伝子の変異は原発性先天性緑内障と関連していることから、この酵素は眼の発達に関するシグナル伝達分子（おそらくステロイド）も代謝していると考えられています。[RefSeq 提供、2008年7月]、触媒活性:  $RH + \text{還元フラビンタンパク質} + O(2) = ROH + \text{酸化フラビンタンパク質} + H(2)O$ 、補因子: ヘム基、疾患: CYP1B1 の欠陥はピーターズ異常[MIM:604229]の原因です。ピーターズ異常は、眼の前房の先天性欠損です。、疾患: CYP1B1 の欠陥は、原発性開放隅角緑内障 (POAG) [MIM:137760]の原因です。POAG は、視神経と視野の異常の特定のパターンを特徴とする、複雑で遺伝的に不均一な眼疾患です。眼の前房隅角は開いており、通常は眼圧が上昇します。この病気は末期になるまで無症状ですが、その頃には重大かつ不可逆的な視神経障害がすでに起こっています。POAG では、CYP1B1 遺伝子と MYOC 遺伝子の変異を伴う二遺伝子遺伝がみられる場合もあります。、疾患: CYP1B1 の欠陥は、原発性先天性緑内障 3A 型 (GLC3A) [MIM:231300] の原因です。GLC3A は、原発性先天性緑内障 (PCG) の常染色体劣性遺伝形式です。PCG は、出生時または幼児期の眼圧の顕著な上昇、眼球の肥大 (牛眼)、および角膜浮腫を特徴とします。これは、眼の線維柱帯と前房隅角の発達異常によって房水の適切な排出が妨げられることによって発生します。、機能: シトクロム P450 は、ヘムチオレートモノオキシゲナーゼのグループです。肝ミクロソームにおいて、この酵素は NADPH 依存性電子伝達経路に関与しています。ステロイド、脂肪酸、生体異物など、構造的に無関係な様々な化合物を酸化します。、機能: 眼の発達に関与する、未だ未知の生物活性分子の代謝に関与します。、誘導: 多環芳香族炭化水素 (PAH) および 2,3,7,8-テトラクロロジベンゾ-p-ダイオキシシン (TCDD) によって誘導されます。、オンライン情報: CYP1B1 アレル、多型: CYP1B1 には様々なアレルが知られています。ここに示した配列は、アレル CYP1B1\*1 のものです。、類似性: シトクロム P450 ファミリーに属します。、組織特異性: 多くの組織で発現します。、

## 研究分野

ステロイドホルモンの生合成、トリプトファン代謝、シトクロム P450 による異物代謝

## 画像データ



CYP1B1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析

CYP1B1 ポリクローナル抗体を用いた Jurkat 細胞のウェスタンブロット解析

